



# 学校だより

第11号 R6.1.31

田村市立大越小学校

発行責任者 校長 安瀬一正

## 学力向上に向けて

日本全体で大きな問題となっている「少子化」は、田村市でも深刻な状況になっています。令和4年の第2次田村市総合計画によると、令和2年の田村市全体の出生数は175人です。

田村市・田村市教育委員会では、子育てに魅力のある田村市を創造する一環として「東大10人構想」を掲げています。「田村市は、子どもたちの進路実現が果たせる」ことをアピールすることにより、市外からの流入人口増を目指すものです。

同時に全体の底上げも図ることにもつなげていきます。山登りでは、山頂は視野も広く、麓でみる景色よりも多くの物が見えます。学力向上も同じように、中学校以降の進路選択の幅が大きく広がることも期待しています。

現在、各小中学校では、実現に向けた対策を進めています。全国学力調査や県学力調査では、正答率や課題となる領域を明確にし、学びがつながるすべての学年で学習指導を見直しています。特に算数・数学科は、県全体でも課題となっています。

大越小では、県算数オリンピックや大越中と連携した漢字検定への参加奨励とともに、校内計算コンクール・漢字コンクールを行っています。また、算数の得意な児童が増えるように「中学への算数」を定期購読しています。(右図)

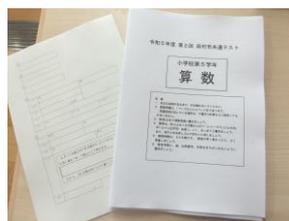
また、田村市では昨年度より「田村市共通テスト」を5年生で活用しています。各校の5年担任が、学習の中心は何か、重要な既習内容は何かなどを学びながら評価問題を作成してきました。全国、県学力調査での課題を改めて評価することにより、授業改善を図っています。(右図)

5年生では、今回の結果を分析し、学級で苦手なところの学び直しを図りながら、自分の苦手や課題を把握して家庭学習に生かす予定です。

R7年度開校予定の県立中学校入学試験が来年度実施されます。本校からも受験にチャレンジする児童が増えるよう学校全体でがんばります。

大越小HP R6.1.30 現在  
訪問者 466,002 名  
ほぼ毎日 更新中

大越小 検索



## 2月の主な予定

- 1日 幼小連携こども園出前授業
- 2日 歌唱指導5・6年
- 6日 PTA運営委員会

- 8日 4年「張り子絵付け体験」
- 13日 新入生保護者説明会・幼小交流会
- 14日 ビブリオバトル
- 15日 なわとび大会(低中) 16日(高)
- 21日 児童会総会
- 29日 6年生を送る会

# 大谷選手からの贈り物



報道で話題の現ドジャース大谷翔平選手から全国の小学校2万校に寄贈されたグローブが、大越小にも届きました。臨時の全校集会で全校生に披露しました。

代表の6年生に荷物が手渡され、子どもたちの手で開梱しました。グローブが現れると、全校生から「お〜〜！」と声があがりました。グローブは、右利き用が大小1つずつ、左利き用が1つの計3つです。

大谷選手からのメッセージも同梱されていますので、6年生から読み上げてもらいました。大谷選手の今があるのも野球が大好きで続けてきたからです。大谷選手の思いは最後の「野球やろうぜ！」の言葉に表れていますね。

早速、6年生の野球経験者2人にキャッチボールを披露してもらいました。鋭い送球に下級生からまたもや「おーーー！」。

グローブは、全校生にふれてもらうために各学級を巡回したのち、体育の授業で活用することにしました。

体のケア	サプリメント 摂取	FSQ 99kg	インステップ 履き	姿勢強化	熱を 落とさない	負傷を つらぬ	上回る ボールを 投げる	リストの 強化
柔軟性	伸びくり	8割 139kg	リリース ポイントの 固定	コントロール	呼吸を なくす	力まない	キレ	下半身 主導
スタミナ	増強	酸素 消費 量増	下腿の 強化	体毛を 伸ばさない	メンタル コントロール を する	ボールを 握る リリース	投球数 アップ	増強
ほろつきり した目標 達成	一週一週 しない	意識的に 心は熱く	伸びくり	コントロール	キレ	離れすぎる	下腿の強化	増強
ピンチに 強い	メンタル	意識的に 書き残す	メンタル	トナリ 練習	スピード 140km/h	練習強化	スピード 140km/h	下半身の 強化
道を つらぬ	道への 集中	増強 思いやる心	人間性	謙	変化	可動域	ライナー キャッチ ボール	ピッチング を増やす
感性	愛される 人間	計画的	思いこつ	ゴミ拾い	練習そうじ	自分と 向きあ う	フォーム 完成	スライダー の強化
思いやり	人間性	感謝	謙遜を 大切にす	謙	練習日 への感謝	強く専念 のあ る グローブ	変化	投球 への集中
礼儀	尊敬 される人間	感謝	アラス言葉	感謝される 人間になる	素直	素直に 受け 取る	スピード アップ に つな げる	投げ やす い

大谷選手の活躍とともに彼の目標実現のためのシートが話題になっています。中央に自分の夢を、その周りに実現のための条件を書き込み、さらにその条件を具体的に達成するための目標が書かれているもの（右図）と紹介されています。

子どもたちにも、「自分の夢を実現するために、できることを確実に実行していこう」と話しました。

## なわとびに挑戦中！

これまで体力作りのために、大越小では、朝の全校マラソンを続けてきました。

冬季になってからは、校庭の凍結のため「なわとび」を行っています。それぞれの児童が自分のペースで挑戦する「短なわとび」と学級全員で挑戦する「長なわとび」に取り組みます。

高学年の長なわとびを披露すると、そのスピードに下級生は「すごい！」と感嘆の声をあげました。福島県教育委員会主催の「みんなで跳ぼう！なわとびコンテスト」に参加する学年もあります。

個々の技術の向上とみんなの力を合わせる団結力で、なわとびにチャレンジしていきます。

